

秋の文化祭

主催：彦根市・彦根市教育委員会
問い合わせ先 園教育委員会生涯学習課（文化振興室） ☎23-7810、FAX21-3080

【9月の行事】

行 事	期 間	時 間	会 場	入場料
開国記念館企画展「わたしの町の戦国」	～平成24年3月31日(予定)	8:30～17:00(入館は16:30まで)	開 国 記 念 館	無料
第11回「懐かしいわが家の思い出グッズ」展・第5回「民具類・古文書・新旧写真等」展	9月3日(金)～5日(日)	10:00～16:00	市民会館・ギャラリー	無料
テーマ展「井伊家伝来茶道具名品選～名物茶器から直弼まで～」	9月3日(金)～28日(火)	8:30～17:00(入館は16:30まで)	彦 根 城 博 物 館	有料
宮川彬良 & 大阪市音楽 Dahhhhn!	9月4日(土)	18:00～(開場は17:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
東京銘曲堂 プラス	9月9日(木)	19:00～(開場は18:30)	文化プラザ・エコーホール	有料
第24回みずえの会水彩画展	9月10日(金)～12日(日)	10,11日は9:30～16:30,12日は9:30～16:00	市民会館・ギャラリー	無料
宝くじコンサート～シューマン生誕200年～大阪交響楽団演奏会	9月11日(土)	15:00～(開場は14:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
陵水フィルハーモニー管弦楽団 第4回演奏会	9月12日(日)	15:00～17:00(開場は14:00)	文化プラザ・グランドホール	無料
第44回彦根城能	9月12日(日)	16:00～19:30(開場は15:30)	彦根城博物館・能舞台	有料
十美会 展	9月17日(金)～19日(日)	17,18日は9:30～16:30,19日は9:30～16:00	市民会館・ギャラリー	無料
第28回彦根美術工芸展	9月24日(金)～26日(日)	24,25日は9:30～16:30,26日は9:30～16:00	市民会館・ギャラリー	無料
第15回淡海能	9月25日(土)	11:30～16:00	彦根城博物館・能舞台	無料
プリズトン吹奏楽団久留米演奏会(抽選は終了)	9月25日(土)	18:30～(開場は18:00)	文化プラザ・グランドホール	無料
BOROコンサート「不老不死な物語」	9月26日(日)	15:00～(開場は14:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
全日本写真連盟滋賀県本部 第18回彦根支部写真展	9月29日(水)～10月3日(日)	9月29日～10月2日は10:00～17:00,10月3日は10:00～16:00	市民会館・ギャラリー	無料

第60回彦根市秋の文化祭参加事業

第59回彦根市美術展覧会

アートフェスティバル

美術とクラシックのコラボ

市展では、彦根市および近隣市町の皆さんから公募した作品の中から、審査を経た力作を多数展示します。なお、併せて審査員、委員、委嘱の各作品および無鑑査作品も展示します。また、今年から「アートフェスティバル」美術とクラシックのコラボ」とし、期間中にクラシックコンサートを開催します。

入場は無料です。芸術の秋にふさわしい、美術品の数々をお楽しみください。

会期 9月20日(月)～同26日(日)
※9月21日(火)は休館

開場時間 各日とも午前9時30分～午後6時(9月25日(土)は午後7時まで、26日(日)は午後5時まで)

会場 ひこね市文化プラザ

日本画 Ⅱ メッセホール棟2階
洋画 Ⅱ グランドホール棟
彫刻 Ⅱ 第1・第2リハール室
美術工芸 Ⅱ メッセホール棟3階
書 Ⅱ メッセホール棟3階
写真 Ⅱ メッセホール棟1階

表彰式 9月25日(土) 午前9時10分
※表彰式の前後にウエルカムコンサートとロビーコンサートを開催します。

問い合わせ先 園教育委員会生涯学習課 文化振興室 ☎23-7810番、FAX 21-3080番

Brasilへようこそ!

第13回 日本へ来て 20周年

「日本に来て20周年」と書かれているのは、日本で発行されているポルトガル語の新聞です。20周年とは、平成2年の法律改正によって多くの日系2世、3世ブラジル人が来日するようになってからの年月を示しています。その2年前、ブラジルでは逆のタイトルで報道されたのが「ブラジル移民100周年記念」でした。大都会から地方まで、書道、華道、茶道、太鼓、よさこいソーランの発表、そば、うどん、お寿司などが用意され、ブラジル中が「日本祭り」でにぎわいました。それだけ日本文化の影響がブラジルの中では大きい証拠でしょう。しかし、このような盛大な祝いができるまでの道のりは簡単ではありませんでした。

遠い国へ行き、言葉を勉強していった人たちでさえ、言葉の壁にぶつかったり、食文化の違いも知らなかったりしました。そのうえ、見たことも聞いたこともない虫などに刺されたり、病気にかかったりしては家族を失い、やっと生活が成り立ったと思ったら霜ですべてを失いました。戦争で日本が負けたことでも、混乱がありました。「2、3年で帰ってくるから」と約束をした家族と会えずに土に返ってしまった人も少なくはありません。

そして、ブラジルにとどまる決心をしたころ、今度は子どもや孫が日本へ逆出稼ぎ。同じように遠くの地へ出発しました。トランクの中には夢とブラジルの食材。日本のことは両親や祖父母から聞いていたとはいえ、1908年ころの日本と今の日本はあまりにも違いがあり、習った日本語も通じないこともありました。

100年かかってやっとポルトガル語を話し、ピンガ(サトウキビでできたブラジルのお酒)を飲み交わして、やっとブラジルになじんだ日系人。習慣や言葉の壁をどう乗り越えていくのか、20年ではまだその壁に気付いたばかり。来日したブラジル人と日本人がなじむにはまだ時間がかかりそうです。 【彦根市国際交流員 平田エジナ】

平成22年上半期（1月1日～6月30日）の火災・救助・救急件数

表1 火災		表3 救急	
出火件数	34	出場件数	2,318
建物火災	16	火災	5
林野火災	1	水難	1
車両火災	5	交通事故	293
その他の火災	12	労働災害	21
原因		運動競技	9
第1位 たばこ	5	一般負傷	284
第2位 ストープ	4	加害	11
第3位 こんろ、放火、放火の疑い	各3	自損行為	40
死者	0	急病	1,530
負傷者	10	その他	124
		搬送件数	2,141
		搬送人員	2,206

表2 救助	
出場件数	21
交通事故	11
水難事故	1
機械事故	2
建物事故	1
その他事故	6
活動件数	5
救助人員	5



平成22年上半期 管内の火災・救助・救急状況

彦根市消防本部では、管内（彦根市・犬上郡）で平成22年1月1日から6月30日までに発生した火災・救助・救急事故の状況を統計にまとめ公表しています。

火災概要

期間中の火災は34件で、前年の同期と比べ16件の増加となっています（表1）。火災の内訳については、「建物火災」が16件と、全火災の47%を占めています。そのほかは、車両火災5件、林野火災1件、その他の火災12件です。火災の原因については、「たばこ」が5件で第1位となっており、第2位が「ストープ」4件、次いで「こんろ」、「放火」、「放火の疑い」が3件ずつとなっています。「放火」と「放火の疑い」

消防だより



問い合わせ先 園消防本部予防課 ☎22-0332番、FAX 22-9427番

救助・救急概要

救助出場件数は21件、救助隊が活動した件数は5件です（表2）。内訳は、「交通事故」11件で、全救助出場件数の52%を占めています。そのほかには「機械等による事故」、「その他の事故」などがあります。

一方、救急出場件数は2、318件でした（表3）。これは、前年の同期間に比べると10件増加となっており、1日平均約13件救急車が出場したことになります。なお、救急車により搬送された人は2、206人で、前年の同期間に比べ29人減少しています。

を合わせると6件で、毎年火災原因の上位に挙がっています。

9月9日は「救急の日」

救急医療と救急業務についての正しい理解と認識を深めていただくことを目的として、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間（今年9月5日(日)から9月11日(土)）を「救急医療週間」と定め、救急医療の普及啓発運動が、全国的に実施されます。

急病や交通事故などの救急事故が発生したとき、救急隊が現場に到着するまでの間、その現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに実施することで、傷病者が救命される可能性が高くなります。

応急手当に関する正しい知識と技術を身に付け、尊い命を救いましょう。

園消防本部では、年間を通じて「応急手当」を知っていただくため、救命講習会などを実施していきます。応急手当の方法や救命講習会などについて、彦根市ホームページに掲載しています。

問い合わせ先 園消防本部予防課 ☎22-0337番

～お知らせ～

甲種防火管理再講習

日時 10月27日(水) 9:00～12:10
場所 消防本部(西今町)
定員 40人(先着順)
受講料 2,000円(テキスト代含む)
申込期間 9月27日(月)～10月1日(金) 8:30～17:15
申込方法・問い合わせ先 園消防本部予防課 ☎22-0332、消防署南分署 ☎43-5670、消防署北分署 ☎23-0119、消防署犬上分署 ☎38-3130

災害掲示板(彦根市消防本部管内)

平成22年1月～7月末までの件数	昨年同期	平成21年中
火災件数	39件	47件
救急件数	2,765件	4,832件
救助件数	28件	50件